

③ 桑折町のうつりかわり

何年前	年号	町のひろがり、くらし	交通	たてもの、しせつ
	江戸	桑折代官により、治められていた。宿屋がたくさんあり、にぎわっていた。 酒やしょうゆづくり、製糸や製粉業がさかんになる。	馬やかご、阿武隈川の川船を利用して荷物を運ぶ。  阿武隈川の川船	西根堰ができる。  古川善兵衛、佐藤新右衛門
120	明	福島県となる。(9年)  三元車	初代鈴木三元が、わが国はじめての自転車「大河」を完成する。(9年) 定期馬車が走る。(10年) 鈴木三元、二人乗り自在車を完成する。(12年) 内国勲業博覧会に三元車を出品する。(14年)	桑折に郵便局ができる。(5年) 小学校ができる。(5年)  新しく建てられた伊達郡役所
100		桑折村大火。(17年) 桑折座で芝居が上演される。(20年) 磐梯山が噴火する。(21年) 市町村制により桑折町、半田村、伊達崎村、睦合村となる。(22年)	東北本線が仙台まで開通する。 桑折駅ができる。(20年)  東北本線を走る蒸気機関車	郡役所ができる。(16年) 西根神社が建てられる。(20年) 桑折警察署ができる。(24年)
90	治	吾妻山が噴火する。(26年) 山くずれで半田沼ができる。(34年) 東北地方大凶作となる。(35年) 東北地方大凶作となる。(38年) 県下大霜害となる。(39年) はじめて電灯がつく。(41年) 半田沼が決壊し被害がでる。(43年)	東北本線が前線開通する。(24年)  軽便鉄道の機関車 軽便鉄道が川俣、桑折間までできる。(44年)	旧桑折警察署  伊達崎郵便局ができる。(36年) 桑折町に図書館、幼稚園がつくられる。(41年)
80	大	第一次世界大戦がおきる。(3年) 第一次世界大戦が終わる。(7年) 米騒動がおきる。(7年)	大正橋ができる。(4年) 保原街道ができる。(6年) 桑折、保原間に軌道開通。(11年) 定期自動車桑折、長岡の運転が始まる。(14年)	 新しく造られた大正橋
70	正	上町が大火となる。(12年)	軌道廃止となる。(15年)	郡役所廃止となる。(15年)
60	昭	不景気になる。(5年) 東北地方が冷害、凶作となる。(6年) 日中戦争がはげしくなる。(12年) 米の配給が始まる。(14年) 第二次世界大戦おこる。(14年) NHK福島放送局でラジオ放送が始まる。(16年) 太平洋戦争が始まる。(16年)	伊達崎橋ができる。(4年) 桑折、湯野間バス開通。(5年) 桑折、梁川間バス開通。(5年)  桑折駅前バス乗り場	 旧睦合中学校校舎
50	和	戦争が激しくなり、疎開児童がくる。(20年) 太平洋戦争が終わる。(20年) NHK福島テレビ放送が始まる。 大冷害で農作物に被害がでる。(28年)		桑折、睦合、半田、伊達崎に中学校ができる。(22年)